

# 地域づくりのための総合事業推進ガイド

多様な主体の参画による生活支援の充実



# 高齢者の生活を支える「多様な選択肢」

医療や介護だけでなく、商業、交通、農業など、地域のあらゆる主体が関わることで、豊かな生活基盤が成り立ちます。



# 取組を加速させる「3つの新しいツール」

1



1. 総合事業ワークシート  
(現状把握と分析)

2



2. 都道府県プラットフォーム手引き  
(広域連携の構築)

3



3. 食の支援プラットフォーム  
(食を通じたつながり)

# ツール1：現状を把握する「ワークシート」

第10期介護保険事業計画に向けた、データ分析と評価のための専用ツールです。

地域の実情を客観的に可視化します。



# 手間なく可視化、グラフの自動生成

## STEP 1



市町村名を選択

## STEP 2



既存データを  
自動処理

## STEP 3



全国・都道府県との  
比較グラフが完成

# 本当の目的は「関係者間の議論」

出力されたデータはゴールではありません。「確認の視点」に沿って、地域の課題と対策を話し合うための土台として活用してください。



# ツール2：「都道府県プラットフォーム」の構築

民間企業など、市町村の枠を超えて広域に活動する多様な主体とつながるための新しい仕組みです。



# つなぎ役「生活支援コーディネーター」の力

住民のニーズと、企業やNPOが持つ独自のノウハウをマッチングさせ、地域に新しいサービスを生み出します。



# 手引きの4つの活用ポイント

構築に向けた具体的な手順や、現場の悩みを解決する  
実践的なノウハウが網羅されています。



# ツール3：「食の支援」から広がるつながり

生活に不可欠な「食」を切り口にすることで、多様な企業や団体が参画しやすくなり、見守りや交流などの支援へと波及します。



# 3つの層で支える共創のエコシステム

国、都道府県、市町村がそれぞれの役割を果たし、連携することで、  
地域を支える強固なネットワークが完成します。



全国版

都道府県

市町村

# 住民参画・官民連携で生まれる新しい支援



**対話**  
(タウンミーティング)

**プロジェクト化**  
(企業との協働)

**実装と自走**  
(新しい支援の定着)

# 地域の力を引き出し、組み合わせる

それぞれの「強み」を掛け合わせることで、高齢者が自分らしく、安心して暮らし続けられる地域をデザインします。



# 次のステップへ



**各手引き・ワークシート  
のダウンロード**



**庁内の関係部署・  
地域機関への共有**